

# 景況などに関する会員アンケート調査結果

## 1. アンケート調査結果概要

- 実施概要：北陸の景気動向や業況その他について、会員の意見、要望を的確、迅速に把握し、その結果を報告するとともに、各方面への要望活動に活かすため、北陸地域の景況などに関するアンケート調査を実施した。[今回で21回目]
- 調査時期：平成21年3月6日～3月19日
- 調査対象：北陸経済連合会会員企業
- 回収率：回答率46.5%（送付企業370社、回収数172社）[前回：45.1%]

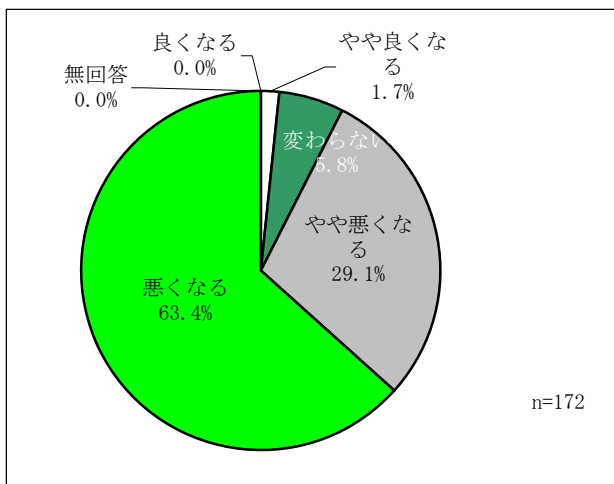
### ○ まとめ

- ・ 北陸地域の景気については、世界的な不況による海外経済の悪化の影響から、「輸出の低迷」「企業収益の悪化」などを理由に景況感が大幅に悪化している。  
現在の景気について、前回調査（平成20年9月調査）に引き続き、ほとんどの企業が「底ばい」又は「下降」と答えている。  
先行き（21年度上期）についても「悪い」「やや悪い」と答えた企業が「良い」「やや良い」と答えた企業を大幅に上回っているが、製造業を中心に悪化傾向の縮小が見られる。
- ・ 業績判断については、現状（20年度下期）で「悪化」「やや悪化」とする企業が「改善」「やや改善」とする企業を大きく上回っている。先行き（21年度上期）については全体として悪化傾向は続くものの、現状に比べると悪化傾向に縮小が見られる。  
このうち、大企業、中堅企業については「悪化」「やや悪化」とする企業の割合が先行き減少しているが、中小企業では依然として減少しておらず、会社規模により先行きに対する業績判断が分かれている。
- ・ 設備投資（前年比）については、「増加」と見込む企業の割合が21年度は20年度より減少した一方、「減少」と見込む企業の割合が大幅に増加していることから、21年度は大幅な設備投資の減少が見込まれる。  
減少要因として、国内・国外の需要や業績改善の見通しが立たないとする理由が前回調査より大幅に増加しており、急激な景気悪化から見通しが立たず投資を手控える企業が多いことが伺える。
- ・ 現在の景気対策について、景気回復の観点では「緊急保証・セーフティネット貸付枠拡大」や「高速道路料金の引下げ」が高い評価を受けている。また、企業業績への効果の観点では「省エネ・新エネ設備等の投資促進税制」や「住宅ローン減税の拡充」「環境対応型自動車の税減免」が高い評価を受けている。
- ・ 新たな景気対策として要望・評価の高い対策として、「日本版グリーンニューディール」や「所得税・法人税の減税」のほか、将来に生きる投資として「研究開発等の企業投資を促す税制優遇」「新幹線・高速道路等の社会基盤整備の前倒し」「老朽化した橋・道路の維持補修」が上位に位置づけられている。
- ・ 今後の重要な施策については、選択順位5位までで見た場合、将来への不安払拭のため「社会保障制度改革」、並びに「国・地方の行政改革」が最も多く、次いで「設備投資や住宅投資を促進するための政策減税拡大」が続く。  
なお、選択順位1位で見た場合には「法人税の引下げ」「規制緩和の推進」が最も多くなっている。

# I. 北陸の景気動向…海外経済の悪化等から景況感は大幅に悪化

- 平成21年度全体の景気動向については、「やや悪くなる」「悪くなる」が92.5%にも上り、「良くなる」「やや良くなる」と答えた企業はわずか1.7%であった。(図表1)
- 前期(平成20年度上期)と比べた現状(20年度下期)の判断を景気判断BSI(図表2)で見ると、前回調査(20年9月調査)が▲80.6%であったのに対し、今回は▲97.7%となり、ほとんどの企業が前期に比べさらに景気が悪化したと答えている。  
企業規模別に見ても規模に拘わらず▲90%後半であり、景気が悪化しているとの判断は共通している。また、21年度上期の見通しについては全産業で▲75.0%と、景気は現状よりさらに悪化すると考える企業が依然、多いものの、現状よりマイナス幅が縮小する傾向が見られる。  
製造業・非製造業別で見た場合、21年度上期の見通しについては、製造業のほうがマイナス幅の縮小の傾向が顕著である。
- 現在の北陸地域の景気の基調をみると、「底這い」「下降」と答えた企業は97.1%(167社)と、ほとんどの企業がすでに回復基調にないと見ており、うち「下降」と答えた企業が63.4%と前回調査(70.3%)に比べ減少しているものの以前、過半数を大きく上回っている。(図表3)
- 「底ばい」「下降」と答えた企業のうち、その理由として「輸出の低迷」「企業収益の悪化」が、ともに約75.0%と最も多く、世界的な不況による海外経済悪化の影響により、企業を取り巻く環境が非常に厳しくなっている状況が伺える。(図表4)
- 景気回復の時期については、「21年度上期」「21年度下期」と答えた企業が21.6%に留まっている。(図表5)

図表1. H21年度全体の景気



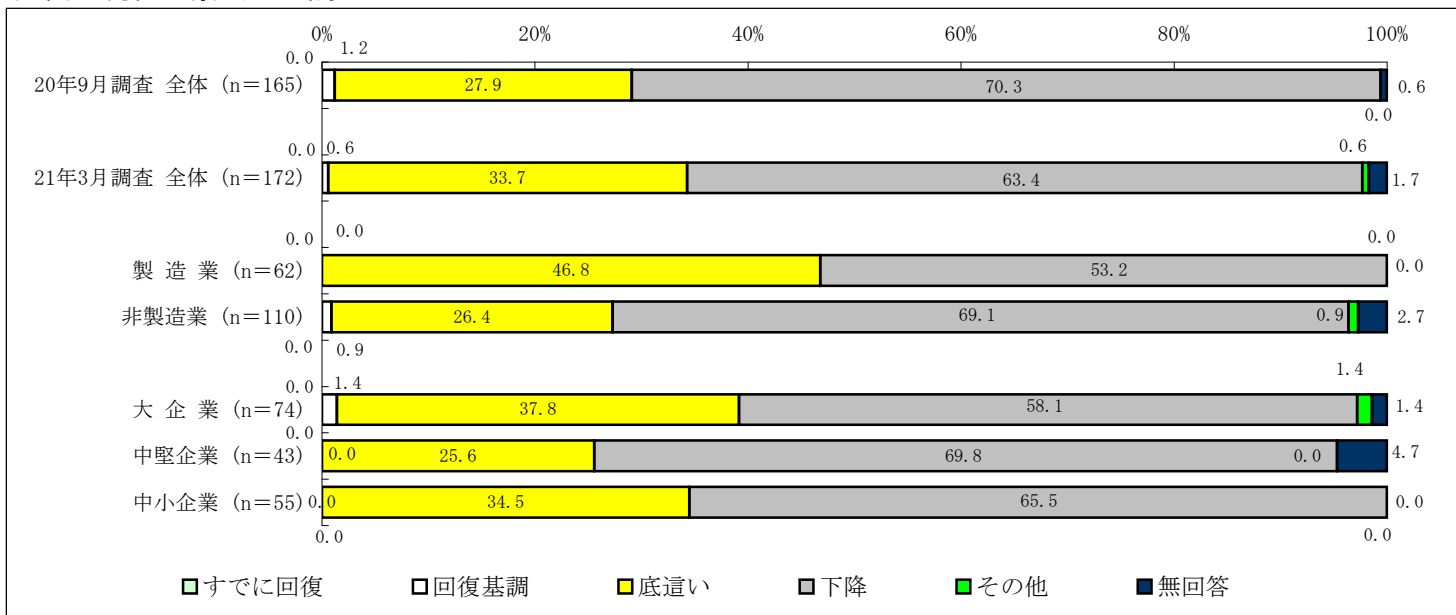
図表2. H20年度下期の景気判断と見通し(前期比)

景気判断BSI (前期比「良い」「やや良い」)-(「悪い」「やや悪い」)社数構成比 単位: %

		20年4~9月 現状判断	20年10~3月 現状判断	21年4~9月 見通し
全産業	21年3月調査 (n=172)		▲97.7	▲75.0
	20年9月調査 (n=165)	(▲80.6)	(▲80.1)	
業種	製造業 3月 (n=62)	(▲79.3)	▲98.3	▲66.2
	非製造業 3月 (n=110)	(▲81.3)	▲97.2	▲80.1
規模	大企業 3月 (n=74)	(▲80.6)	▲98.7	▲70.2
	中堅企業 3月 (n=43)	(▲86.1)	▲97.7	▲83.8
	中小企業 3月 (n=55)	(▲76.4)	▲96.3	▲74.5

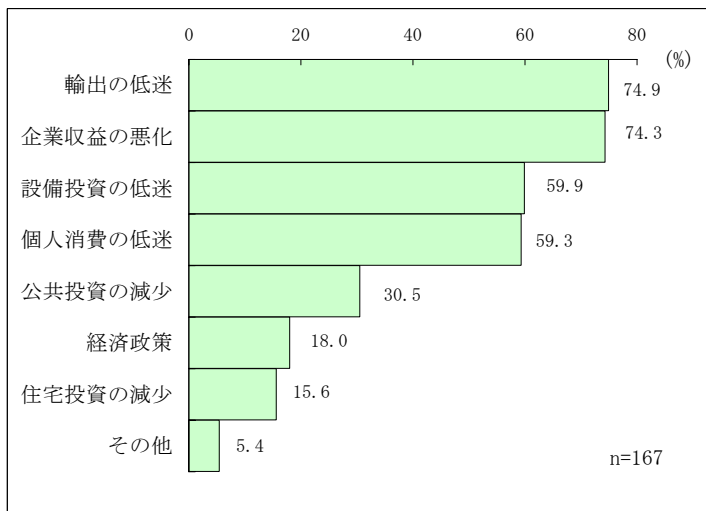
(注) ( )内は平成20年9月調査

図表3. 現在の景気の基調



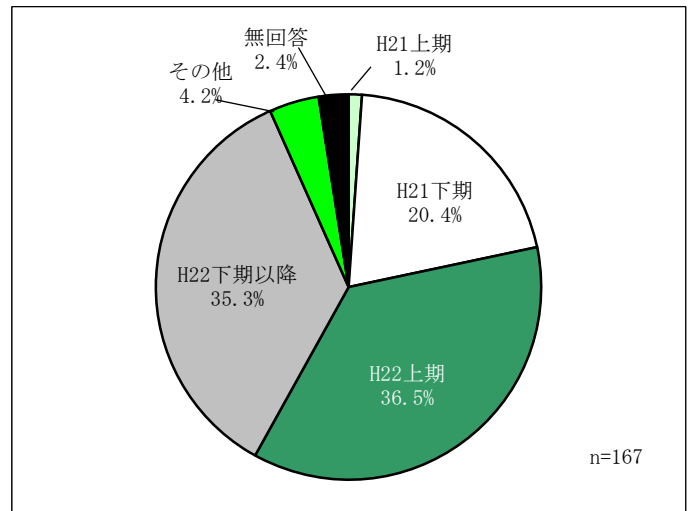
図表4. 現在の景気が悪い理由（複数回答可）

※景気が「底這い」「下降」と回答された企業



図表5. 景気が回復に転じる時期

※景気が「底這い」「下降」と回答された企業



## II. 業績…現状の業績判断は国内販売の不振、輸出の不調等から大幅に悪化

・前期(平成20年度上期)と比べた現状(20年度下期)の判断を業績判断BSI(図表6)で見ると、前回調査の現状(20年度上期)の判断(▲46.1%)から、今回は▲70.3%と、業績が悪化した企業がさらに増加している。一方、来期(21年度上期)の見通しについては、▲51.7%とマイナス幅が縮小しており、業績悪化傾向が縮小している。

なお、企業規模別では大企業、中堅企業が現状が底でマイナス幅が大きいものの、見通しはマイナス幅が縮小しているのに対し、中小企業では現状でマイナス幅が拡大し、先行きもわずかながら悪化しており、業績の改善がまだ見込めないとする企業が多い。

・現在の業績水準についてみると、「大変良い」「良い」と見る企業が1.8%と前回(10.3%)から減少している。また、「悪い」「大変悪い」と見る企業が73.3%(126社)と前回(52.1%)から増加しており、業績水準は悪化している。(図表7)

・「大変悪い」「悪い」とした企業(126社)は、「国内販売の不振」が60.3%(前回調査48.8%)と最も高く、続いて「競争激化(34.9)」や「輸出の不調(32.5%)」が続いている。ちなみに、前回調査では約65%と最も高かった「原材料費の上昇(9.5%)」が大きく順位(1⇒7位)を下げる一方で、前回調査では約17%であった「輸出の不調」が大きく順位(5⇒3位)を上げている。(図表8)

・また、今後業績が良くなる時期については、「大変悪い」「悪い」と答えた企業のうち21年度上期や21年度下期とした企業が24.6%に留まっている。(図表9)

図表6. H20年度下期の業績判断と見通し(前期比)

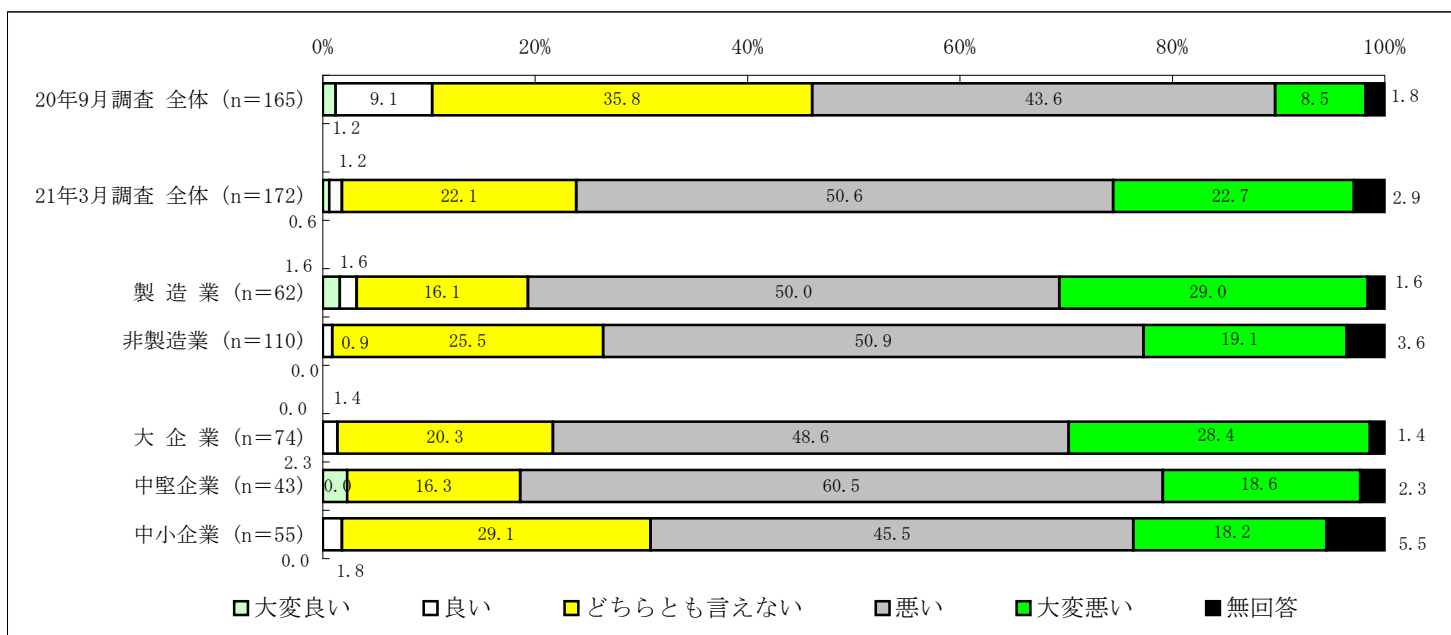
業績判断BSI  
(前期比「改善」「やや改善」)－(「悪化」「やや悪化」)社数構成比

単位：%

		20年4～9月 現状判断	20年10～3月 現状判断	21年4～9月 見通し
全産業	21年3月調査 (n=172)		▲70.3	▲51.7
	20年9月調査 (n=165)	(▲46.1)	(▲34.0)	
業種	製造業 3月 (n=62)	(▲58.5)	▲70.9	▲58.0
	非製造業 3月 (n=110)	(▲40.1)	▲70.1	▲48.2
規模	大企業 3月 (n=74)	(▲49.3)	▲79.7	▲47.3
	中堅企業 3月 (n=43)	(▲60.5)	▲69.8	▲48.9
	中小企業 3月 (n=55)	(▲30.9)	▲58.1	▲60.0

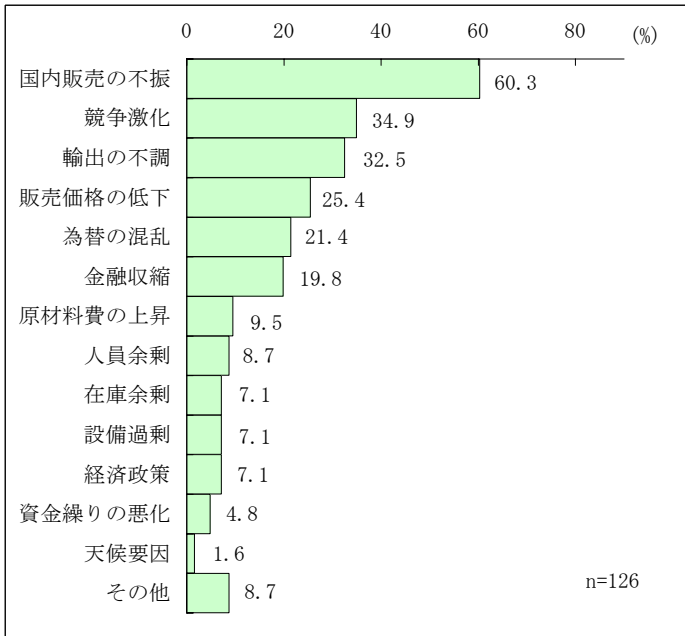
(注) ( )内は平成20年9月調査

図表7. 現在の業績水準



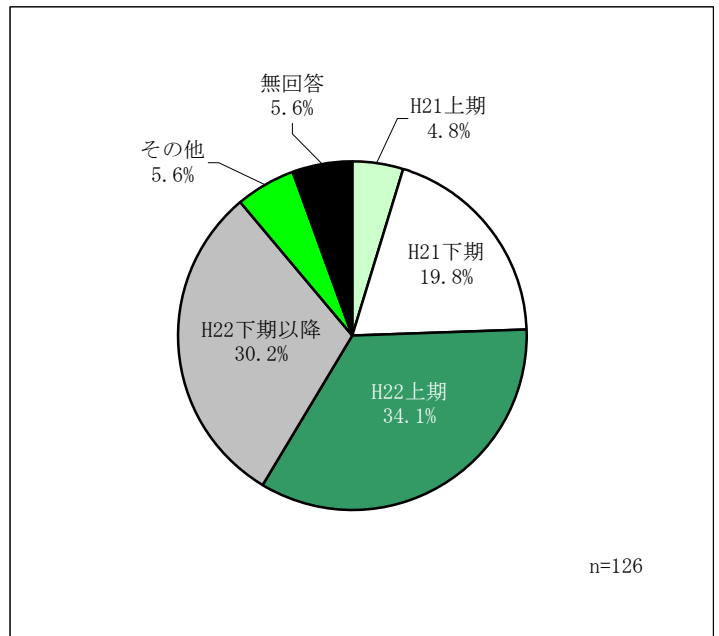
図表8. 現在の業績が悪い理由（3つまで回答可）

※業績が「悪い」「大変悪い」と回答された企業

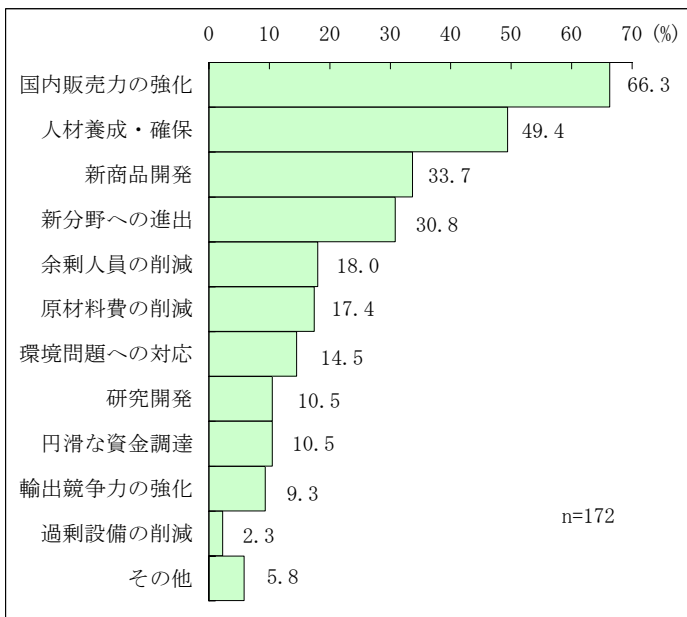


図表9. 業績が良くなる時期

※業績が「悪い」「大変悪い」と回答された企業



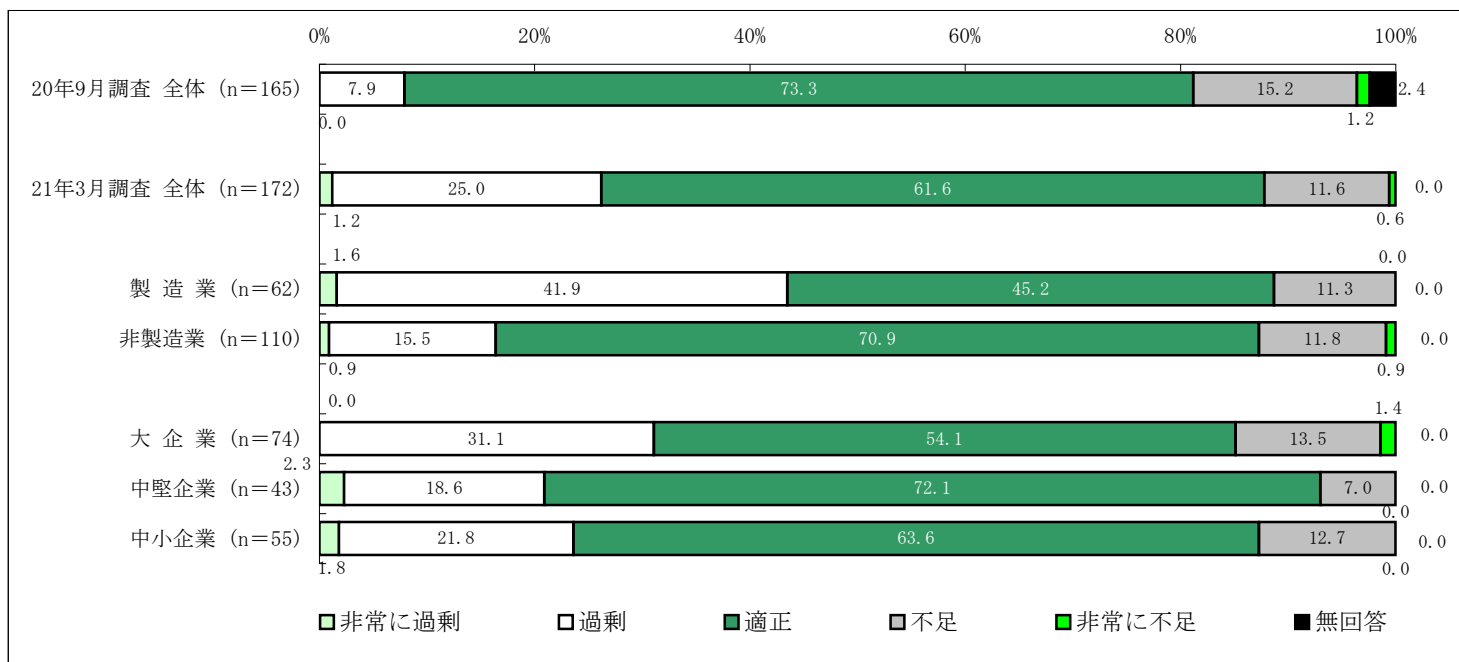
図表10. 経営上の課題（3つまで回答可）



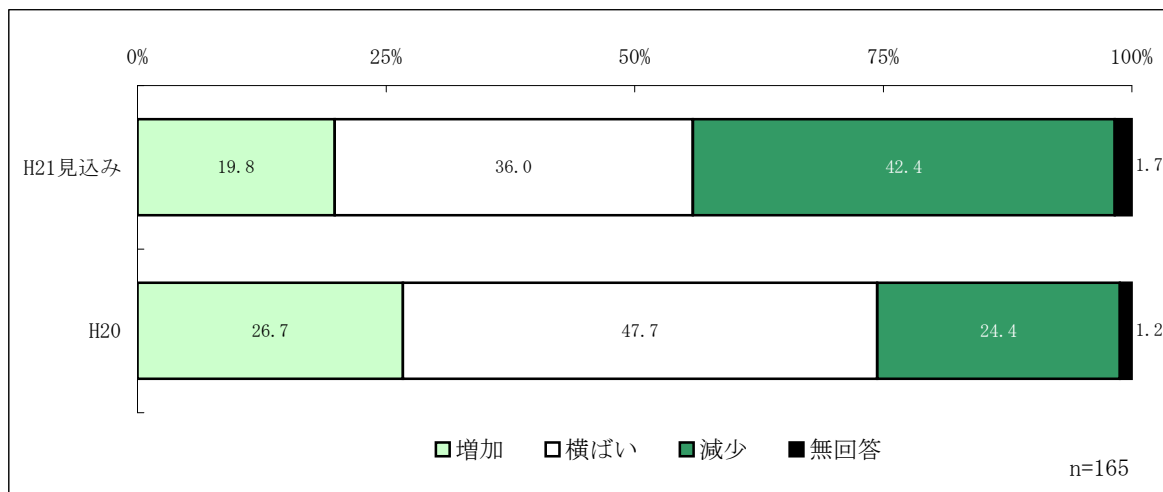
### Ⅲ. 設備投資…国内外の需要見通し立たず、投資を手控える企業が増加

- ・現在の設備水準については、「適正である」と答えた企業が61.6%を占め、前回（73.3%）から減少した。また、「過剰」「非常に過剰」と設備に過剰感を持っている企業は26.2%と、前回（7.9%）から増加しており、以上のことから設備投資を縮小させる動きが強まっている状況が伺える。（図表11）
- ・製造業・非製造業では、製造業のほうが過剰感を持つ企業が4割強と非常に高くなっており、規模別では大企業で過剰感を持つ企業の割合が最も高い結果となっている。
- ・設備投資（前年対比）については、平成20年度は「増加」と答えた企業が26.7%で「減少」と答えた企業を2.3%上回った。一方、21年度については「増加」（19.8%）と答えた企業が「減少」（42.4%）と答えた企業を大きく下回っていることから、設備投資は大幅に減少すると見込まれる。（図表12）
- ・平成21年度の設備投資の増加要因としては、「設備の維持・更新」と答えた企業が64.7%と最も多く、次いで「新規事業への進出（23.5%）」「情報技術（IT）投資が必要（20.6%）」と答える企業が続いている。（図表13）
- ・減少要因としては、「国内需要回復見通し立たない（69.9%）」「業務改善の見通し立たない（68.5%）」、ついで「海外需要回復見通し立たない（32.9%）」とした理由が、前回調査から20～40%も大きく増加しており、急激な景気の悪化から見通しが立たず、設備投資を大幅に手控える企業が増えている状況が伺える。（図表14）

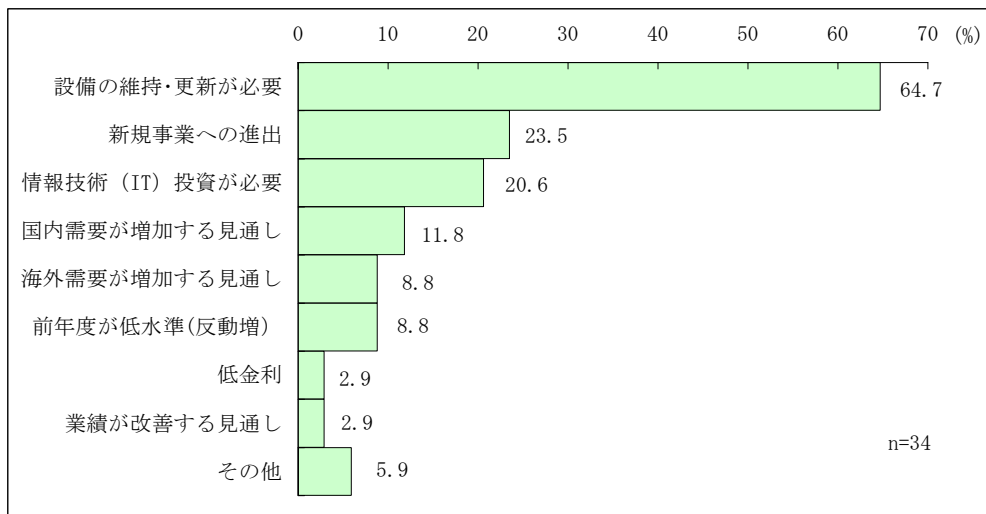
図表11. 現在の設備水準



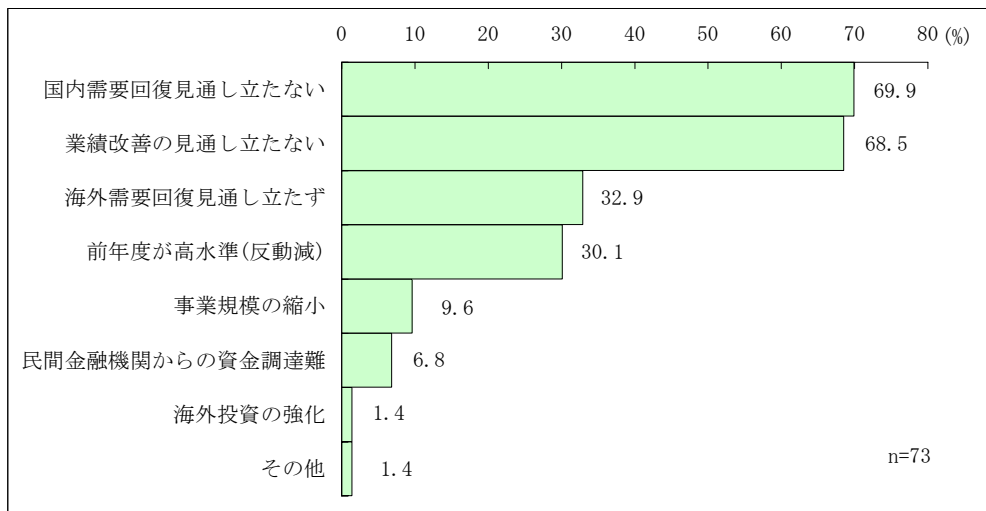
図表12. 設備投資（前年比）



図表13. H21年度の設備投資が増加する理由  
(3つまで回答可)



図表14. H21年度の設備投資が減少する理由  
(3つまで回答可)

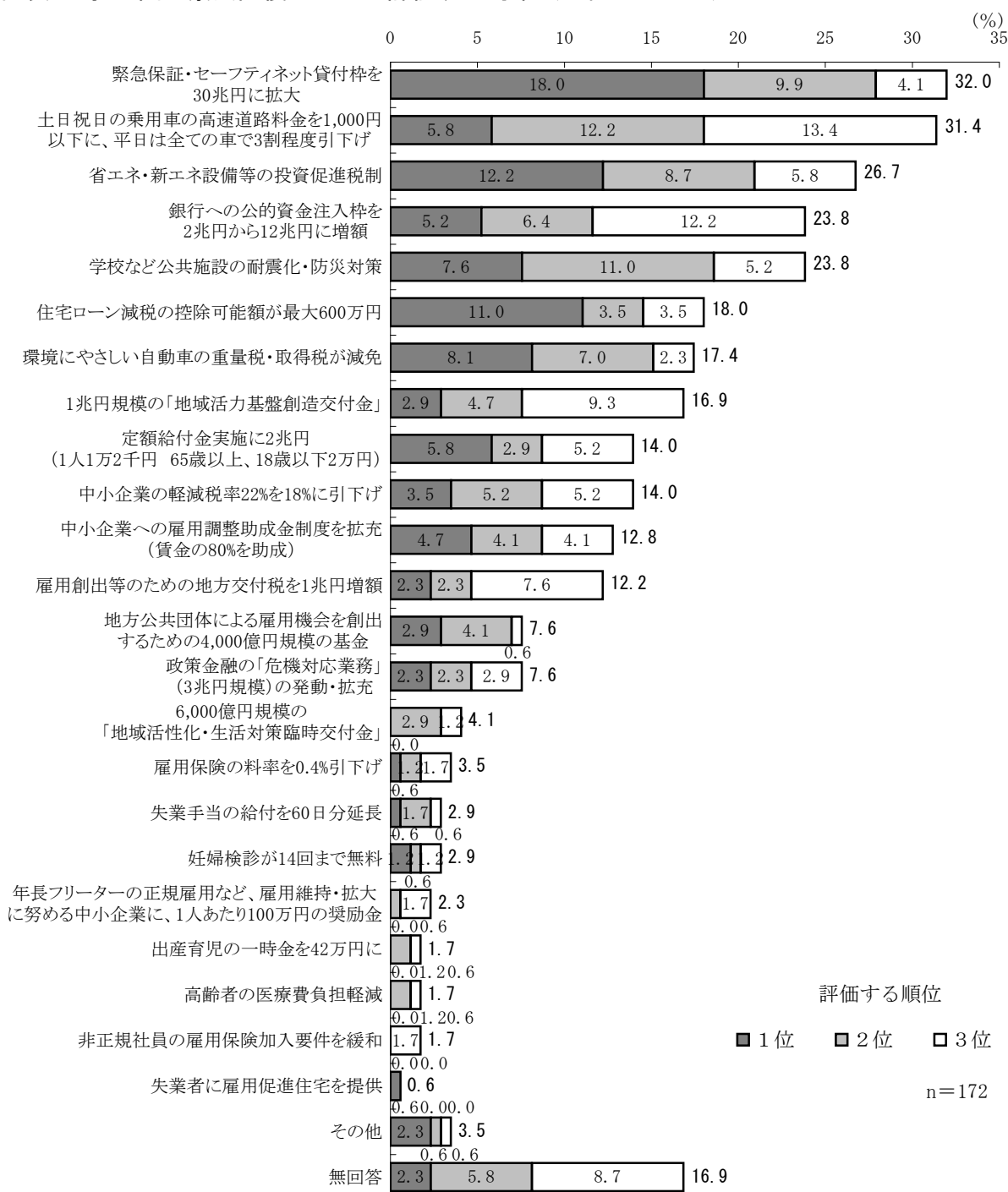


#### IV. その他

##### 1. 現在の景気後退に対する景気対策について

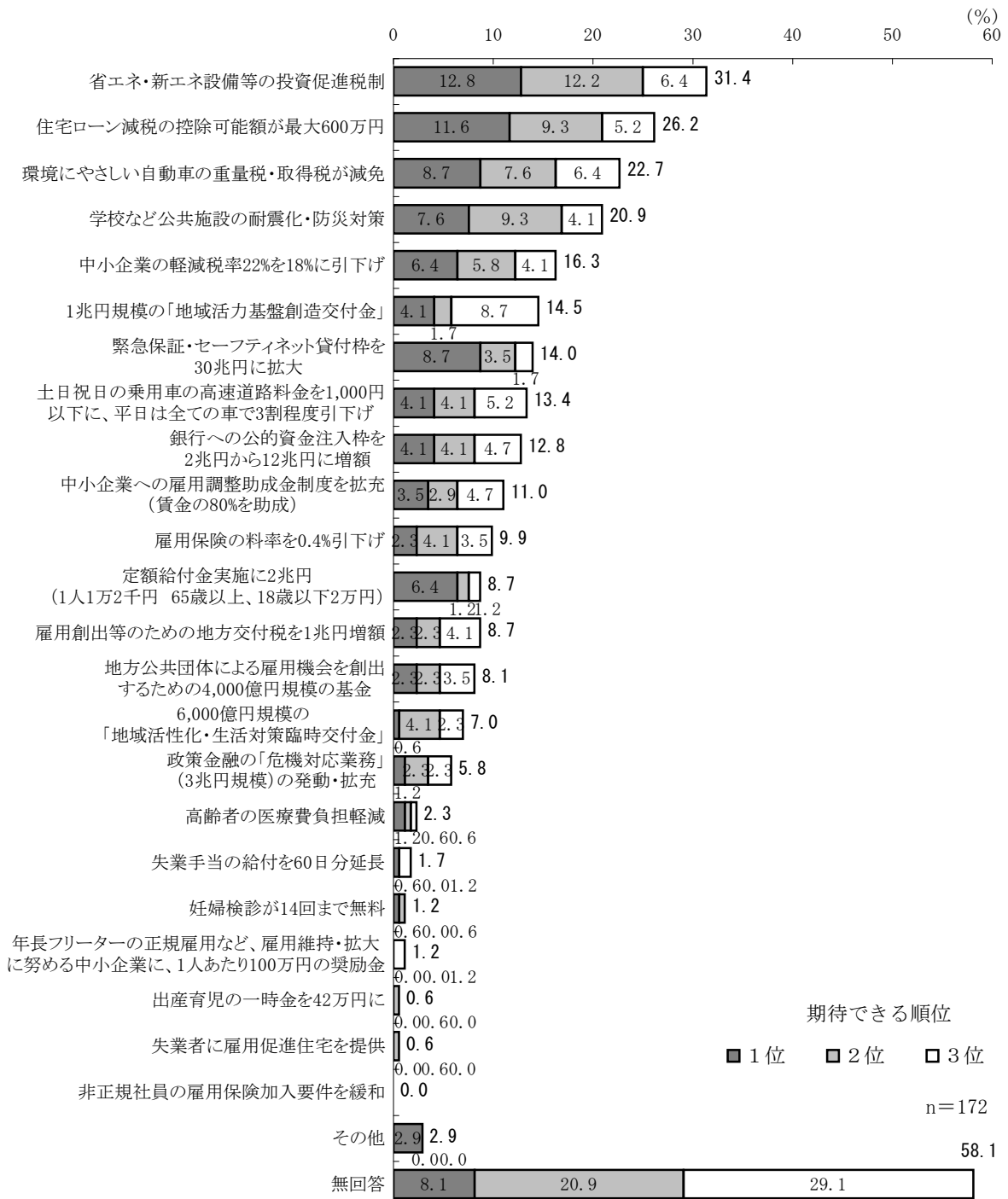
- ・雇用維持、景気の底割れ防止の点で「緊急保証・セーフティネット貸付枠の拡大」が、地域活性化の点で「高速道路料金の引下げ」が高い評価を受けている。(図表15)
- ・多くの企業の業績に効果が期待できる対策として、「省エネ・新エネ設備等の投資促進税制」「住宅ローン減税の控除可能額アップ」「環境にやさしい自動車の重量税・取得税の減免」などの需要創出等が期待できる対策が高い評価を受けている。また、これらは更なる拡充を求める対策としても上位の評価を受けている。(図表16、図表18)
- ・景気対策として評価しない対策として、「定額給付金」のほか、「失業者への雇用促進住宅提供」「妊婦検診の無料化」「高齢者医療費負担軽減」が続いている。(図表17)

図表15. 我が国の景気回復にとって評価する対策（上位から3つ）

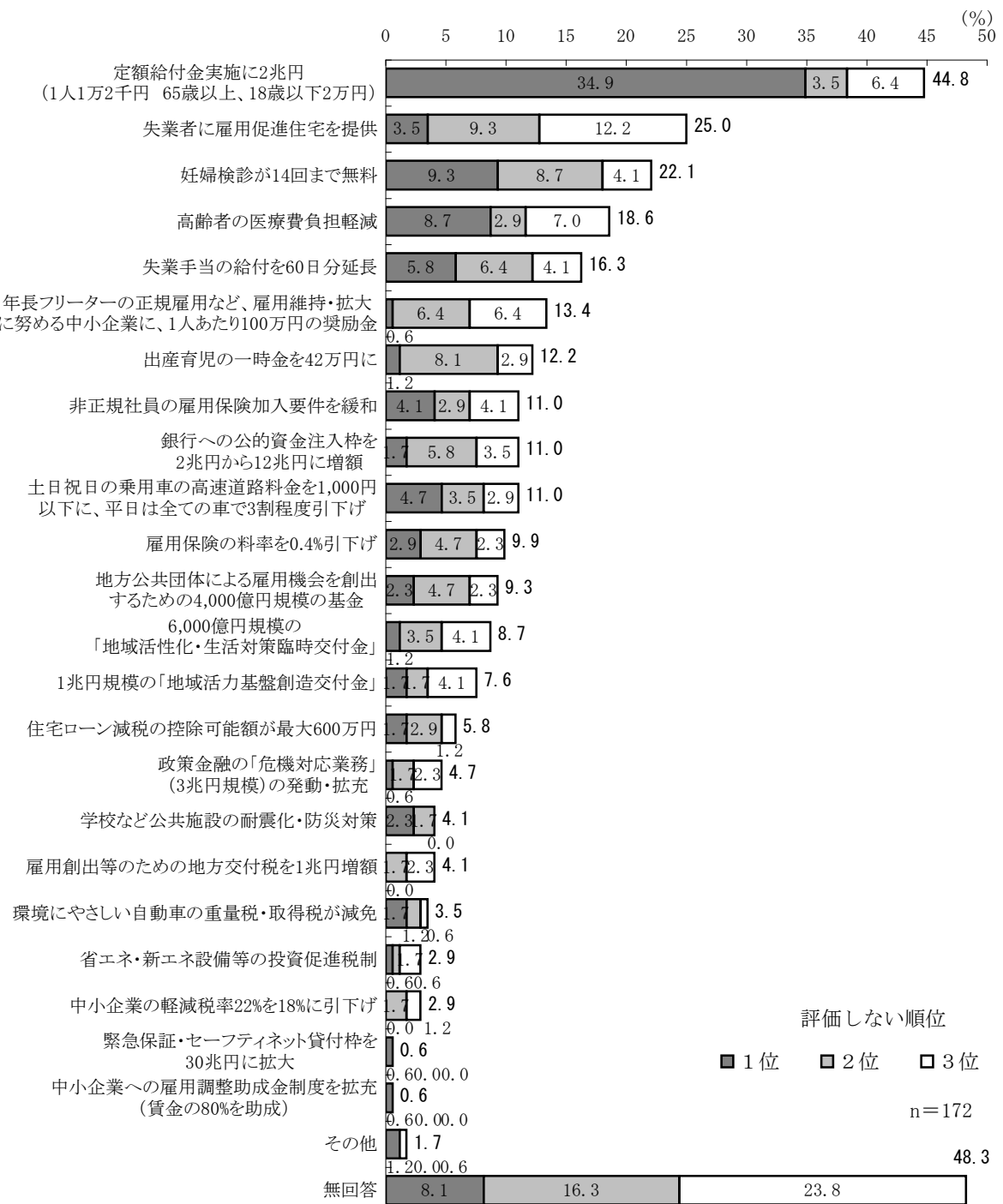




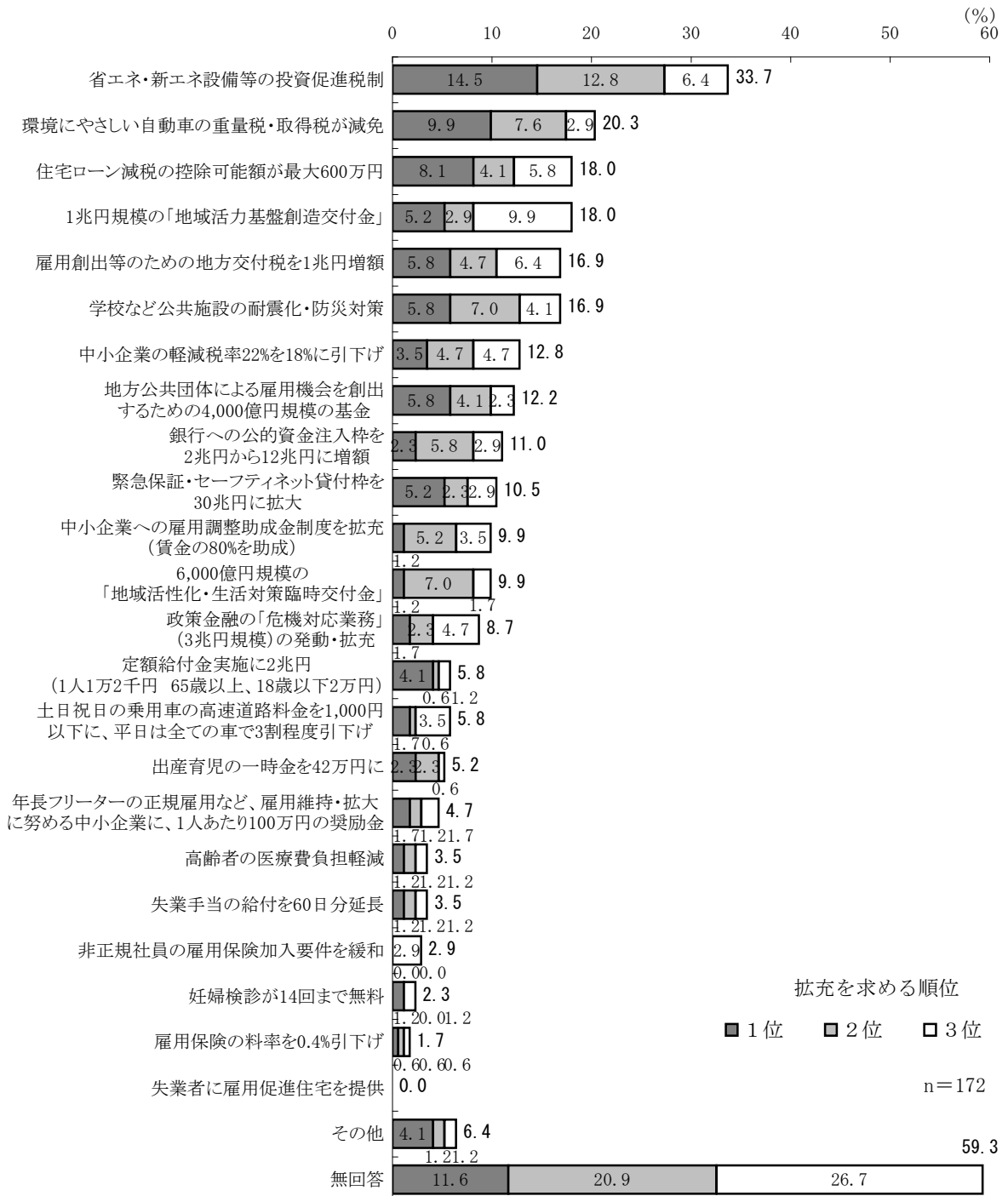
図表16. 貴社の業績にとって効果が期待できる対策（上位から3つ）



図表17. 我が国の景気にとって評価しない対策（上位から3つ）

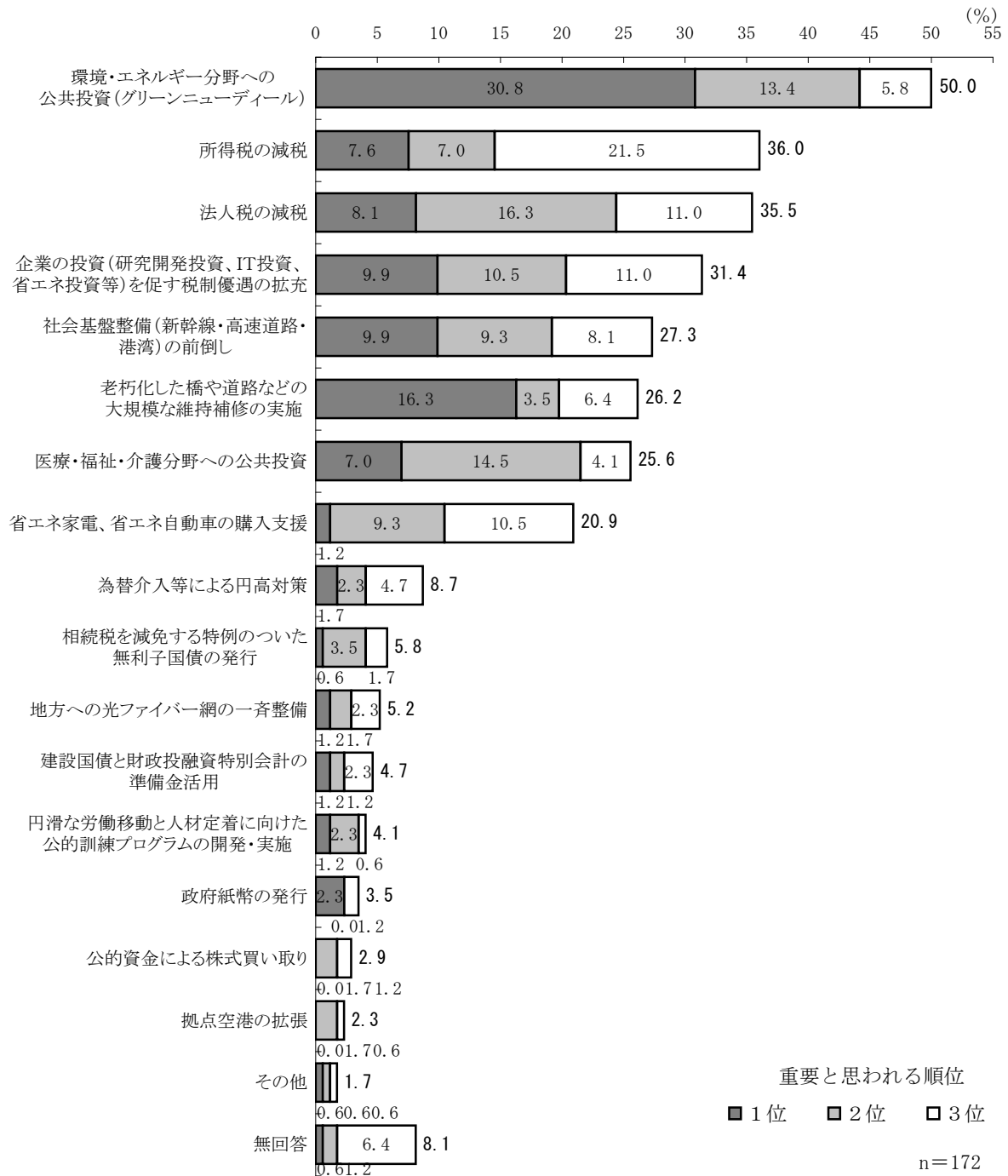


図表18. 更なる拡充を求める対策（上位から3つ）



- 新たな景気対策としては、選択順位3位までの総合で見た場合、オバマ米国大統領の施策として注目されている「環境・エネルギー分野への公共投資（グリーンニューディール）」が50.0%と次点を引き離して高い評価を受けている。  
次いで「所得税の減税（36.0%）」「法人税の減税（35.5%）」が続く。
- 同じく、選択順位1位だけで見た場合、2位に「老朽化した橋・道路の維持補修（16.3%）」が、次いで「企業の投資を促す税制優遇の拡充（9.9%）」「社会基盤整備の前倒し（9.9%）」となっており、将来に生きる公共投資が高い評価を受けている。（図表19）

図表19. 新たな景気対策として要望、評価する対策（上位から3つ）



## 2. 今後（中期的に）、重要な施策について

- ・今後（中期的に）重要な施策について、選択順位 5 位までの総合で見た場合、将来の不安払拭のための「社会保障制度改革」、並びに「国・地方の行政改革」（40.1%）が最も多く、次いで「設備投資や住宅減税の拡大」（38.4%）が続く。
- ・また、「法人税の一層の引下げ（36.6%）」とほぼ同率で「消費税を含む税制の抜本改革（36.0%）」も上位に位置づけられており、景気回復後の近い将来に検討されるであろう消費税等の税制改革も重要な施策として高い関心が払われている。
- ・選択順位 1 位だけで見た場合、「法人税などの企業課税の一層の引下げ（12.2%）」が最も高く、次いで「国・地方の行政改革（10.5%）」「規制緩和の推進（10.5%）」が続く。（図表20）

図表20. 今後（中期的に）、重要な施策（上位から5つ）

